



令和4年度学校だより

6月28日

五福校 ごふくこう

No38

文責 本田

暑い日が続きます。・・・登下校、外遊びは熱中症対策でマスクをはめる必要はありません

もう、真夏のような暑さが続いています。学校の植物も朝から水をたっぷりやらないと萎れてしまっています。新型コロナウイルス感染対策はしていかなければなりません。夏場は熱中症対策の観点から、マスクが必要な場面ではマスクを外すことが推奨されています。具体的には、小学生以上の子どものマスクが要らない場面として、

○登下校時 ○体育の授業 ○自然観察など屋外で行う教育活動があげられています。

教室の授業ではマスクをするようにしています。with コロナの対応として、おしゃべりする時は飛沫を飛ばさないようにマスクをはめる、おしゃべりをしないで登校するときや外で十分空気が流れているような時は外すといった対応となります。手洗いうがいはきちんとしていきます。

併せて、こまめな水分補給も行っていきます。水筒が足らなくなったら、学校の水道水は飲めますので、喉が乾く前にしっかり水分をとるようにご家庭でもお声かけください。

4年生、5年生見学旅行も無事行っています。

先日4年生は水の科学館とリサイクル工場へ、今日は5年生が水俣市へ環境や人権のことを学習するために見学旅行に行っています。5年生は昨年まで現地での学習ができなかったのですが、今年度から直接現地に行って学習をすることができるようになりました。「百聞は一見に如かず」と言います。リモートやネットで調べただけではわからないことがたくさんあります。4年生も5年生も事前学習をきちんとしています。お話をしっかり聞いて、自分なりにメモできているのが素晴らしいです。これから新聞等にまとめるのが楽しみです。

石坂グループ (リサイクル工場)

お話を聞いた、見学したりして分かったことをメモしよう。

分類

ペットフレークから再びペットボトルへ戻ることが出来る

ビンカンストックヤード

製造メーカーに送られる

リサイクルビン100%再生

ガラスパレット10数秒でビンが作られる

石坂グループ (リサイクル工場)

お話を聞いた、見学したりして分かったことをメモしよう。

- 紙やダンボールを選別している場所がある
- ショベルカーでダンボールや紙ゴミを扱ったりしている
- スチールプレス1つで150キロ
- アルミが18キロ
- プラスチックなどの固まりがあった
- ガラスを選別していた
- 石坂グループは他の工場がある
- リサイクル
- かんやピンは選別
- スチールかん=出荷
- 運ばれた鉄スクラップから1060度で溶かされリサイクル
- アルミ砕いて丸められる
- アルミニウムになる
- ガラス瓶
- ピンは洗って使えるピン一回しか使えないピン
- ラベルをはがしようにくしてお酒を入れて出荷
- ラベルをはがしきというものがある
- ガラスカレットは溶かされて加工される
- 数秒でできる
- 溶かされ新しくピンになる
- ペットボトルひとつののりによって遺物をとりのぞく
- キャップと分ける
- 水の洗浄しに運ばれる
- ペットリック専用型に熱を加える
- 紙ミ選別ラインに載せられる大きな機会と同じ大きさにする
- りょうかいするとかす
- 遺物を溶かす。大きなロール紙は新聞紙になる

しっかりお話を聞いて、メモを撮ることができています。

子どものマスク着用について

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

目安 2m以上

就学児について

(小学校から高校段階)

マスク着用の必要がない場面

- 屋外**
- 人との距離が確保できる場合
 - 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞離れて行う運動や移動、遠くまで密にならない外遊び
 - ＜例＞屋外で行う教育活動(自然観察・写生活動等)
- 屋内**
- 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞個人で行う読書や調べ学習

学校生活 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各校が団体が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を講じましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の就学前児について

2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

- 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要な場面では、マスクを外すことを推奨します。
- マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
- ※その他感染防止策に応じて、講じられている対策がある場合は、それを含め対応をお願いします。

